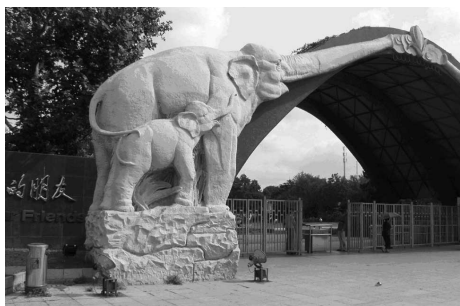


上海と東京の動物園を楽しむ

外国語学部 中国語学科4年 郷 寿子

◀ 上海動物園



◀ 上野動物園



交通アクセス

●上海動物園 ……
中国上海市人民広
場よりタクシーで
約30分
住所：上海市虹橋
路2381号
電話：86-21-6268-
7692
<http://shanghai-zoo.cn>

●上野動物園 ……
最寄り駅JR上野
駅公園口より徒歩
5分
住所：東京都台東
区上野公園9-83
電話：03-3828-
5171
<http://www.tokyo-zoo.net/>

今上海は日本でも人気の観光地であり、世界中から多くの企業や人・モノが上海を目指して集まっている。私は去年1年間上海に留学し、その間に新天地や豫園、東方明珠塔などへ行く機会があり動物園もその一つであった。また、今年度のゼミナールのテーマが動物園ということもあり、何年ぶりに上野動物園にも訪れた。

まずは上海動物園である。上海動物園の運営については開園以来の年表や運営内容、入場者数などが記録してある

『上海市立動物園概況』（民華印刷公司 1936年）が詳しいのでこれを参考にしていきたい。上海動物園は図書館や博物館と同じく社会教育の場として1933年に上海市文廟路に開園した。当時の上海市の社会局は動物園の開園に当たり、「觀賞」よりも「社会的教育」の領域を重んじた。上海動物園では各国から動物を取り寄せ展示・飼育をし、病気の研究など様々な活動が行われ、現在の動物園とさほど変わらない運営がされていた。また、驚いたことに動物園の初代主任である沈様瑞は運営の考察のために上野動物園を何度か訪れている。上海動物園が開園した1933年の来園者数は約100万人で収入は約200000元であった。そして1949年中華人民共和国の成立を経て、中国解放5周年に当たる1954年に現在の上海市虹橋

区に移動し、現在は70ヘクタールの敷地内に600種あまり6000頭の動物が飼育されている。

私が初めて上海動物園を訪れた時の印象は周囲が住宅街ということもあり、動物園というよりも大きな公園といった感じであった。中に入るとゆつたりとした時間が流れ、外の騒がしさからは想像できないほどであった。動物園の中には10円で園内を周遊できるバスがあり、このバスに乗って園内を周ることもできる。

興味深かったのは、トラやキリンなどをはじめいくつかの動物には飼育スポンサーがあり、それぞれの展示室にはスポンサーを明記した看板が取り付けられていたことである。スポンサーは企業、中には学校や幼稚園というところもあった。もう一つ、動物の展示の仕方は、日本の動物園と比べるとかなり動物を間近に観ることができるといふことである。動物と人の間



▲上海動物園にて撮影

とだった。動物たちが普段どんなものを食べているのかや、動物の食生活がきちんと管理されているかが私たちにも分かる。このパネルはゴリラの展示室付近にあり見ることができ

上野動物園のスポンサーは上海の動物園のようにはつきりとは表示されてはいなかったが、園内のサインや看板のデザインを更新・整備する「サイン整備事業」にいくつかの企業が賛同していたり、宝くじの普及宣伝として整備された動物の施設などがあった。またパンフレットは日本語、英語、中国語、韓国語が用意されていたが、内容はどれも日本語のパンフレットを訳したものであったが、その国に応じて内容を変えてみても良いのではないかと思った。例えばパンダは中国から日中友好の印として1972年に上野動物園に贈られたということをパンフレットに載せるだけでも、中国人来園者に好感をえることができるのではないだろうか。

今回上海と東京の二つの動物園に行ったが、ただ動物を観に行くというだけでなく、動物園の歴史やスポンサーに視点を置いてみるとまた違った見方ができた。

動物園が社会教育の現場としての面も持ち合わせているというのは意外かもしれない。しかし、普段見ることの出来ない身近ではない動物

にはフェンス1枚だけといったところが多く、ある程度の距離が設けられている日本の動物園と比べると動物を間近に観ることができる。また日本の動物園だと動物に直接触れることができるのは触れ合い広場などに限られ、動物も限定される。しかし、上海動物園ではフェンスから少し手を伸ばせば動物に触れることだってできる。私がカバのプールに行った時、カバが目の前で大きな口を開き、その大きさや初めて身近で見るカバの姿に感動してしまった。しかし、その反面、来園者が動物にパンやお菓子などを与える光景をよく目にした。餌のつもりであげているのであろうが、もちろん動物のためにはならないし、食べ物以外のものが与えられてしまったら死なせてしまう場合もある。このような行為を観光客がしないことがもつともであるが、させないための課題も動物園に残されているのではないだろうか。

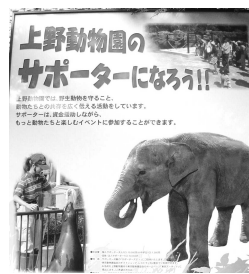
一方、上野動物園は上海動物園よりも早い1882年に日本で初めての動物園として上野恩賜公園内に開園し、日本を代表する動物園となっている。現在は財団法人東京動物園協会が運営している。園内には江戸時代の旧寛永寺五重塔や閑々亭や、渡り鳥の飛来地・カワウの繁

殖地にもなっている不忍池、東園と西園を結ぶモノレールが走っている。

私が訪れた日は家族連れやカップル、見学にきた園児など多くの人で賑わっていた。動物の展示館はそれぞれの動物に適した環境が整えてあり緑も多く、老若男女問わず分かりやすく観ていて楽しいものであった。動物に関する展示パネルには、その生態だけでなく世界における分布状況や、絶滅の危機に瀕している動物への保護活動などのことも詳しく紹介されていた。例えばNPO法人の野生生物保全論研究会(JWCS)パンフレットによればトラをはじめクマやゾウなどの危機に直面している動物に対しては各種の保護基金活動が行われていることがわかる。

動物園のメニュー									
イチゴ	モモ	煮干し	ブドウ	小豆	（タマゴ）	バナナ	りんご	みかん	柿
食パン	キュウリ	ヨーグルト	ハッソウ	蜜柑	お茶	バナナ	りんご	みかん	柿
セロリ	ナス	ゆで玉子	スイカ	クルミ	クローバー	バナナ	りんご	みかん	柿
トマト	レタス	ブルーベリー	オレンジ	スキムミルク	サイロバット	バナナ	りんご	みかん	柿
キャベツ	ニンジン	カキ	小松菜	シイの実	シイの葉	バナナ	りんご	みかん	柿
パイナップル	リンゴ	キウイ	米	カシの実	カシの葉	バナナ	りんご	みかん	柿

▲上野動物園のえさのメニュー



▲上野動物園サポーター事業の看板

上野動物園で面白かったのは写真にある動物たちの餌のメニューが紹介されているというこ

ないかと思う。しかし、背景にある歴史を考えると、上海動物園がかつてそうしたように社会教育の場の動物園としての動物園を楽しんでみたりするのも新鮮なのではないだろうか。

◆上野動物園サポーター事業

園内の動物の飼育環境充実を目的としている。提供された資金は、野生動物本来の行動を引き出す遊具類の設置や餌の購入に使用される。また資金の提供者には情報提供や、サポーターズデイの開催などがある。

- 個人サポーター：大 人一口10000円
小学生・中学生一口1000円

キャプション

- 法人・団体サポーター：一口50000円
から提供する事ができる

◆野生生物保全論研究会（JWCS）

野生生物の保全をし、豊かな自然環境実現を目指す特定非営利活動（NPO）法人。
ワシントン条約プロジェクト、トラ保護基金/ゾウ保護基金、野生生物保全教育のプロジェクトを行っている。トラ・ゾウ保護基金のサポーターも募集している。

住所：〒150-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4末広ビル7階

電話・FAX：03-3595-1171 E-mail：info@jwcs.org

http://www.jwcs.org/